

平成 25 年度江田島市公共交通協議会事業計画(案)

(1) 目的

江田島市を支える持続可能な公共交通を、「つくり，守り，育てます」を基本方針として，海上交通（航路）を基軸とし，陸上交通（バス，おれんじ号等）を含めた体系的見直しを行い，これらが一体として機能する「持続可能な公共交通体系」を，市の適切な関与の下，民間活力を活かしながら再構築する。

(2) 公共交通協議会等について

地域における需要に応じた住民の生活に必要な船舶及びバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り，地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため，随時，公共交通協議会を開催する。

また，必要に応じて，陸上分科会・海上分科会等を開催し，事前協議を行う。

(3) 陸上交通について

① おれんじ号の運行委託

江田島北部線・沖美北部線・沖美南部線のおれんじ号，大須朝夕便の運行委託を行う。

平成 24 年度の実績等により，陸上分科会や公共交通協議会の協議を踏まえ，見直しを進める。

② 江田島バスとの連携

江田島バスに対しては，住民ニーズ情報の提供，利用者減少路線等の改変要望，航路のダイヤ変更によるダイヤ改正協議等を行い，連携を行う。

③ 交通空白不便地域対策

バス路線の変更等による交通空白不便地域については，交通手段確保が必要と判断される場合は地域の特性や利用者予測等により，対応協議を行う。

(4) 海上交通について

① 航路利用促進

市外からの航路利用を促進する観点から，15,000 円以上の 6m未満の乗船車両領収書があれば，2 割相当の江田島特産品プレゼントキャンペーンを行う。

【 参 考 】 航路利用促進関連事業

- [航路事業者共同企画] 子どもの日 子ども乗船料無料

平成 25 年 5 月 5 日（日）1 日限定で当日運航する全航路により，保護者同伴（引率者含む）の小学生以下の子ども乗船料を無料にする。

- [江田島市企画事業] 子ども乗船料無料化社会実験

市外からの航路利用を促進する観点から，学校の夏休み期間に 6m未満の自動車に同乗している小学生以下の子どもの乗船料を無料にする。

② 西能美航路の再々編協議

西能美航路については、民間と公営の異なる運航主体が混在しているという特殊事情に加え、経営状況の悪化しているため、海上分科会・公共交通協議会で協議を重ね、航路の存続に向けた再構築案について今年度中に取りまとめる。

なお、各素案の乗降人員推計について、アンケート調査等による分析業務を専門機関へ委託する。

[スケジュール (予定)]

前提条件	4月	公共交通協議会…再々編に向けた前提条件の整理
再々編案の検討	5月	海上分科会で検討…素案（複数案）の作成
	6月	
	7月	公共交通協議会…素案に対する課題・意見
	8月	・各素案の乗降人員推計分析 ・課題・意見等の整理
	9月	公共交通協議会…素案の中から方針を決定
再々編案の策定	10月	海上分科会で検討…方針に沿った再々編案の作成
	11月	
	12月	公共交通協議会…再々編案の策定

(5) インターネット等による情報提供

バス路線の時刻・料金表等を含む路線検索ホームページの運営管理、運航休止情報等のメール配信により利用者の利便性向上を図る。

(6) その他

その他公共交通協議会が必要と認めた事業